

平成 23 年度公募要領案の主な変更のポイント

1. 研究分野・領域について

- ・ 環境・エネルギー分野において、「気候変動の適用又は緩和に資する研究」領域を「地球規模の環境課題の解決に資する研究」領域に統合する。

2. 研究機関のコミットメント

- ・ 研究代表者からの研究提案を大学等の組織として承認し、十分な支援と協力を行う意思を有していることを確認するため機関長の承諾書を提案時に求めることを記載。

3. その他

- ・ 提案書類様式に、「相手国研究機関と共同で ODA の枠組みにより実施する必要性」および「相手国研究機関と共同で研究を実施する意義(日本の科学技術の発展、若手研究者の育成、日本の科学技術が相手国及び世界へもたらす効果などの科学技術政策上の観点からのメリット)」を記載いただくよう追加。
- ・ 採択された研究代表者の責務等に関して、「国民との科学・技術対話」に積極的に取り組むべきことを追加するとともに、活動計画の記載と当該活動を評価においても考慮することを記載。
- ・ 選考の観点において、「日本における科学技術の発展、日本の若手研究者の育成、日本の科学技術の相手国および世界への効果が見込まれること」を記載。
- ・ 選考の観点において、研究代表者の「強い意志と熱意」に加え、「強いリーダーシップ」を記載。
- ・ Q&A に一定の条件のもと優れた学生を JST 経費で途上国派遣が可能である旨を記載。